

## 高校の進路ガイダンスで社会人講話

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は11月26日（月）、神奈川県立横浜南陵高等学校（横浜市）の校内進路行事として開催された1学年対象の進路ガイダンスで社会人講話を実施した。

本講話は、学校側から学生に「働く事の意義を捉え、職業や職業生活に対する意識を高め、自己の在り方・生き方を考えさせる機会とする」という目的の下、講話を依頼され、当日は12名の学生に対して所長が自衛隊の仕事について話をした。当初「自衛隊の任務」について、資料映像等を見ながら陸海空自衛隊の主な活動を説明した。航空自衛隊のスクランブルの多さや海上自衛隊の警戒監視の状況等は、特に学生が興味を示し、真剣に聞き入っている姿が印象的だった。

また、国際平和協力活動や南極地域観測事業等にも興味を示し、ほとんどの学生が知らないという状況の中、多くの質問が飛び出すなど講話は盛り上がった。

また、陸海空自衛隊の職種が多さに驚くと共に、災害派遣部隊の活動についてテレビ等を見て知っている学生も多く、目を輝かせて聞きながら聞いていた。

最後の質疑応答の時間では、「どの資格が取れますか」とかレンジャー出身の広報官へ「訓練は厳しいですか」「普段から体を鍛えているのですか」等の質問も出て、一線部隊の訓練等に関心を持っていることが窺えた。

上大岡募集案内所は、「今後も学校説明会等に積極的に参加し、学生に対し自衛隊をPRすると共に、教諭の皆さんへも自衛隊に対する理解促進に努めていきたい」とコメント。



所長の説明に聞き入る学生達

## 未来の幹部候補生を試験艦「あすか」の体験航海に招待

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、12月3日（月）試験艦「あすか」の体験航海に一般幹部候補生の受験を検討している方一名を招待した。

参加者は停泊中の試験艦「あすか」に近づくと「大きいですね」と目を輝かせた。今回の体験航海は、海上自衛隊船越基地からJMU（シヤパン マリンユナイテッド株式会社）横浜磯子区）への回航で短時間ではあったが、引率の井坂広報官と共に艦橋の見学や機器等の説明を受ける等の貴重な時間を過ごした。

参加者は、艦で勤務をしている乗組員と話す機会を持つこともできた。参加者からは「どんな試験対策をしましたか」「幹部を目指したきっかけは何ですか」等の質問を受けると、分かり易く真摯に回答してくれた。参加者が積極的に質問したり、回答を熱心に聞き入ったりする姿は、自衛隊への興味を深めてもらえた様子で、未来の幹部候補生の誕生を感じさせた。

市ヶ尾募集案内所は「実際に艦艇に乗艦できた体験は、参加者に自衛隊を理解してもらう貴重な時間となった。今後もフォローを継続し、未来の幹部候補生誕生に繋げていきたい」とコメント。



乗艦する参加者たち



艦の前で記念撮影



井坂広報官（左）と参加者（右）